

- 「業務遂行動機(心がまえ) + 業務遂行能力(知識・スキル・態度)を身につける
- レベル別で3コースを整備 (主としてスキル・態度の習得)

1. コース (幹部・一般A/B)

H26年度～

- 段階的な学習による能力向上を図ることを目標

コース名	参加基準	コース基本目標	主な学習内容	
			共通	個別
幹部	中級修了者 or 防災業務経験5年目以上	意思決定能力、マネジメント能力の習得	災害の教訓・実体験から得られる「心がまえ」	<ul style="list-style-type: none"> 意思決定に必要な知識・スキル 組織運営(指揮統制)を行う上で必要なスキル・態度
一般A	初級修了者 or 防災業務経験3年目以上	問題認識能力・課題解決能力の習得		<ul style="list-style-type: none"> 業務上の問題を認識し、その改善・解決を図るための知識・スキル 組織を機能的かつ効果的に運用するためのスキル・態度
一般B	新任者 or 経験年数の浅い者	イマジネーション能力、基礎的な業務遂行能力の習得		<ul style="list-style-type: none"> 業務(予防・応急・復旧・復興)を迅速かつ確実に遂行する上で必要な基礎的な知識・スキル 組織の一員としての基礎的なスキル・態度

「コース（幹部、一般A/B）」スキルマップ

(研修の種類)

(コース)

(代表的な能力)

滞在型研修

eラーニング

幹部コース

- 防災業務経験5年以上
(意思決定者含む)
- 中級修了者

幹部

意思決定能力、マネジメント能力

- 情報不足あるいは情報集中の状況の中であっても、事態の本質を見抜き、今後の展開を予測できる
- 戦略的に思考し、的確な対策を決定できる
- 限られた時間の中で、迅速かつ的確な対応を実施できる
- 関係者との適切な分担協力体制を築き、緊密に連携して、対策を実施できる
- 継続的に組織の能力を高め、効率よく効果的に目標を達成できる

一般Aコース

- 防災業務経験3年目以上
- 初級修了者

一般A

問題認識能力、課題解決能力

- 情報不足あるいは情報集中の状況の中であっても、分析・判断し、対策を立てることができる
- 組織を機能的かつ効果的に運用できる
- 業務上の問題を認識し、ハード・ソフトをバランスよく組み合わせる最前の改善・解決策を立て実行できる

一般Bコース

- 防災業務の新任者
- 防災業務経験年数の浅い者

一般B

イマジネーション能力、業務遂行能力

- 災害発生後、時間経過とともに発生する事態を具体的にイメージできる
- 自らの災害に関する知識を有機的に結合し、必要な対応を迅速かつ的確に実施できる
- 関係者との連携等による体制の充実・強化など、災害発生時対応に向けた備えを強化できる

基礎 (eラーニング)

- 前提知識を学ぶ
- 滞在型研修の前提条件

基礎
(eラーニング)

前提知識

- 防災行政を実施するうえでの基本となる用語、仕組み、基本的な態度・心構え等を理解する
- 滞在型研修の前提として必要な基礎知識

H27年度～

2. 専門コース

5年後頃～

段階的に充実

- 専門的領域に限った学習による専門能力向上を図ることを目標
- 受講者の希望するコースあるいは講座を選択(選択式)
- eラーニングによる「前提基礎」の学習を前提

コース名		コース基本目標	学習内容(例)
業務別コース	予防	災害予防対策業務の遂行能力の習得	・予防対策業務を推進するための手法やノウハウに関する知識、実施するためのスキル 例) ハザードの特性／訓練の企画・運営技術
	応急	災害応急対策業務の遂行能力の習得	・応急対策業務を推進するための手法やノウハウに関する知識、実施するためのスキル 例) 災害救助法の運用／情報処理技術
	復旧・復興	災害復旧・復興対策業務の遂行能力の習得	・災害復旧・復興業務を推進するための手法やノウハウに関する知識、実施するためのスキル 例) 復興計画の策定
組織運用コース	基礎技術	組織運用に必要な業務処理スキルの習得	・組織運用に必要な個別・機能別スキルの習得 例) プランニング技術・広報技術
	総合運用	組織運用全般に必要なスキル・態度の習得	・組織を運用するためのスキル・態度 例) 統制技術、組織間の調整・連携

3. (その他) カンファレンス

- 研修後のフォローアップを行う
- 人的ネットワークの強化・充実を図る

- 対象者: 滞在型研修の修了者
- 内容: 講演、活動報告会、分科会に分かれた意見交換会など

来年度～

段階的に充実

目的	目標	内容
研修後の フォローアップ	<ul style="list-style-type: none"> ● 研修で学んだことを実践していく中での疑問や悩みを共有し、解決する ● 滞在型研修の提供内容の改善を図るため、滞在型研修の効果を評価する ● 受講生のモチベーションや、研修で学んだことの実践行動を維持する 	<p><H26年度></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 受講者からの活動報告（研修後の行動変容） ● 防災情報の提供 <p><以降、段階的に充実></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 特別講座（講演、演習等） ● 分科会 ● ポスター発表
人的ネット ワークの 強化・充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 受講生や講師・専門家と防災のプロとしての交流を図る ● クラウド交流のオフ会として、ネットワークの強化・拡大のために活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ● 交流会 ● 意見交換会 等